

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術 I	1	30	1	中島 千頭
令和7年4月1日				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 看護技術の持つ意義を理解し、科学的根拠に基づいた技術を追求する姿勢を養う 看護の共通技術であるコミュニケーション技術とバイタルサインの観察技術を習得する 			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	看護技術を学ぶにあたって <ul style="list-style-type: none"> 基礎看護学の位置づけ 看護技術の範囲 看護技術を適切に行うための要素 看護技術の原理原則：安全・安楽・自立・個別性 	講義 個人ワーク グループワーク		
2回目	コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本 効果的なコミュニケーションの実際 具体的な場面でコミュニケーション行動とその評価 コミュニケーションに障害がある対象への対応 			
3回目				
4回目 (45分)	ヘルスアセスメント ヘルスアセスメントとは	講義		
5回目	健康歴とセルフケア能力のアセスメント			
6回目	全体の概観 <ul style="list-style-type: none"> バイタルサインの観察とアセスメント フィジカルアセスメントに必要な技術（視診・触診・聴診・打診） 全身状態・全体印象の把握 	講義		
7回目				
8回目	【第1回目】 バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際	演習（実習室）		
9回目	血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
10回目	心理・社会的アセスメント	講義		
11回目	【第2回目】 バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際	演習（実習室）		
12回目	血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
13回目	【第3回目】 バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実際	演習（実習室）		
14回目	血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告			
15回目	ヘルスアセスメント まとめ	講義		
終講試験(筆記試験) (45分)				筆記試験
教科書	①基礎看護技術 I 基礎看護学 医学書院 ②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ※教科書①は講義・演習ともに、必ず持参すること。			
評価方法	①筆記試験 ②技術試験 (合計100点満点) ※ただし、①②ともに、60%以上の得点であることが合格条件となる。			
備考	技術試験を実施する：バイタルサイン測定 詳細は別途提示する。 <ul style="list-style-type: none"> 看護技術は練習だけすれば身に付くものではありません。何故そうするのか根拠を学び、正しい知識と技術と態度の習得をしていけるように、自分の時間を調整し、真摯に練習をしていきましょう。 演習時間では技術の基本的理解を目指すために、真剣に取り組むこと。 技術試験を受けて、到達度に達するまで評価を繰り返し受けること。 			